

緑化だより

No.67 平成23年12月号



タラヨウの実 平成23年11月23日撮影

○きのこの味“苦い味のきのこ(6)”

○サクラのあれこれ (9)

○野鳥の世界

○季節の植物

○研修会紹介

○お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

きのこの味

苦い味のきのこ(6) ケロウジ(毛老人)

きのこの名前を判別する時、その判断材料の一つに“味”があります。生のきのこを少しだけかじってみるのです。味が無いものが多いのですが、中には辛いとか苦いとか酸っぱいものもあります。今月も苦い味のきのこをとりあげます。

ケロウジはアカマツ林に発生する中型のきのこで、傘の裏が針状なのでコウタケと似ていますが、コウタケのように傘表面は厚いささくれで覆われていません。きわめて苦いので食べられません。

このケロウジがアカマツ林にはびこるようになるとマツタケ発生にとってマイナスであると考えられています。というのは、マツタケ菌は土の層に繁殖しますが、ケロウジ菌は土の層の上にある腐植層で繁殖するので水分が土の層まで浸透しにくくなるのです。マツタケ山にケロウジが増えたらケロウジが発生している周辺の腐植層を取り除いてやりましょう。



ケロウジ

サクラのあれこれ(9)

年中咲くサクラ？

鎌倉市の瑞泉寺に、年中咲いている桜があると聞いたが本当でしょうか。来園者H氏の質問に、そのような桜があれば是非見たいし、確認のため関東の知人を通じて調べてみました。

瑞泉寺は鎌倉幕府の重臣、二階堂氏により建立され、最初の鎌倉公家となった足利基氏によって瑞泉寺に改名され、歴代の鎌倉公家の菩提寺として栄えた寺という事です。

別名花の寺としても有名で、スイセンやアジサイ、黄梅などが植えられ、カエデも多いことから、紅葉の名所ともなっています。その中に冬桜があり、秋と春に咲くことで珍しがられているとのことでした。

年中咲く桜にというのはこの冬桜を指しているらしいと判りました。多分秋から春と長く咲くことで、たまたま2シーズンに見た人が年中と勘違いされたものかもしれません。

桜に限らず2シーズンに咲くものを四季咲きと言います。四季咲きと聞くと年中の印象を持ちます。こうして一年中咲くものと思いが込みが起こるのかもしれません。

冬桜(*Cerasus* × *Parvifolia*)は小葉桜とも呼ばれ、マメザクラとオオシマザクラの種間雑種とされています。花は一重の5弁で、はじめは淡紅色のちに白色となります。

群馬県鬼石町の山の斜面には数千本が植えられており、「三波川の冬桜」として天然記念物にもなっています。

秋と春に開く桜では、「冬桜」のほかに「十月桜」「不断桜」「子福桜」「四季桜」が有名です。四季咲きのこれらの桜は、春にもう一度開花してくれます。



紅葉の中の冬桜

「十月桜」は、御会式桜(オエシキザクラ)とも呼ばれ、マメザクラとエドヒガンの種間雑種と考えられています。花卉は10~15枚で春の花が秋より大きいのが特徴です。

「不断桜」は、三重県鈴鹿市の観音寺に古くから栽培され、10月から5月まで咲くことからこの名がつけました。ヤマザクラとオオシマザクラの種間雑種(小林義雄説)とされています。

「子福桜」は、シナミザクラとエドヒガンの種間雑種(大井次三郎説)とされています。

「四季桜」は、マメザクラとエドヒガンの種間雑種とされています。

ちなみに、「冬桜」と「十月桜」は緑化センターで今を盛りと開いており、紅葉とのコントラストが鮮やかです。

秋にのみ咲くヒマラヤザクラや早春に咲く寒緋桜が功わり、遅い開花のサトザクラ類が功わりと、日本は年中サクラを見ることが出来る国かもしれません。



十月桜

野鳥の世界

コゲラ

紅葉がすすみ散り始める頃になると、留鳥であるシジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、メジロ、ヒガラ、コゲラなど小型の鳥達は寄り添うように群れを作り、協同生活をするようになります。

落葉し、見通しが良くなった林の中は広く見渡せ、天敵の姿をいち早く見つけ、警戒音を発して逃げることが出来るのです。

これらの小鳥達が最も警戒するのは、林の中でもツバメのように敏速で飛び回ることが出来る、タカの仲間での小型のツミやハイタカです。

コゲラの警戒音は低いため、遠くまで響き、逃げるタイミングが取りやすいと考えられています。散り散りに逃げた小鳥達は、又集合して群れで生活をします。

これらの小鳥達は餌の種類によって好みに差があるため、木々の梢、木々の中間辺り、地上に近い低い位置で餌を探したりと、群れでいても大きなトラブルはないようです。

コゲラは木の幹、樹皮の下や横枝などにいるクモやキクイムシ、ガなど昆虫の卵や幼虫を餌にしています。

緑化センターでは、樹木の種類も多く、コゲラにとっては棲みやすい環境があり、散歩の途中普通に会うことがあります。長い遊歩道は小鳥の群れを追って行くにはちょうど良く、幸運な時では至近距離で観察することが出来ます。雌雄鳴き交わしながら活動する習性があるため鳴き声を頼りに探すのが出会うコツです。

初夏には低い木に穴を空けて子育てをする、親しみやすい野鳥です。



コゲラ

季節の植物

12月は紅葉と共に木の実の季節です。

「柿の豊作の年は栗が成らない」と言われますが、まさに今年はドングリが成りません。ところが、木の実は豊富で赤、紫、黄と鈴生りです。

赤い実は、はがきの樹「タラヨウ」、黒く逞しい「クロガネモチ」、庭木に欲しい「モッコク」、葉裏が白いウスノキの仲間「シロダモ」、バットの原料「アオダモ」、輝く赤色の「ウメモドキ」、鎌の柄に出来る硬い材質を持つ「カマツカ」、Xmasに飾る「セイヨウヒイラギ」「シナヒイラギ」や「サルトリイバラ」。他にも「ソヨゴ」「カナメモチ」「ガマズミ」「トキワサンザシ」などで、黄色に近い「トキワサンザシ」、紫色の「ムラサキシキブ」「コムラサキ」「ヤブムラサキ」、白い実の「センダン」、「ナンキンハゼ」など花や紅葉に無い姿を見せてくれています。

研修会紹介

- 12月 3日(土) 『クリスマスリース作り』 10:00～12:00 学習室 集合
自然の素材を使ってリースを作ろう 要予約(先着 30名) 材料費 500円
定員に達した為、受付終了しました。 講師:森林インストラクター 長井 稔
- 12月 6日(火) 『冬の写真教室』 10:00～12:00 学習室 集合
写真コンクールの公開審査と講評 講師:二科会会友 宗岡 泰昭
- 12月 10日(日) 『12月の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前 集合
12月の樹木を観察しよう 講師:北広島町立高原の自然館学芸員
白川 勝信
- 12月 24日(土) 『注連縄作り』 10:00～12:00 学習室 集合
注連縄を作ってみよう 要予約(先着 20名) 材料費 600円 講師:小河内わら工芸会

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

- 12月の休園日は月曜日、及び12月29日(木)～1月3日(火)です。
- 1月、2月は合併号となります。
- ・ レストハウス・ボード展示
 - 秋の写真コンクール写真展 12月 8日(金)～1月 15日(日)
平成23年度秋の緑化写真コンクール、応募者全員(1人1点)の作品を展示します。
- ・ レストハウス・ガラスケース展示
 - 緑化センターの野鳥の巣展 12月 7日(水)～2月 5日(土)
緑化センターの様々な野鳥の巣を展示します。

表紙:タラヨウ(多羅葉) モチノキ科

高さ10mになる常緑高木 雌雄異株 葉に引っかき傷をつけると傷跡が黒くなり文字を書くことが出来る。葉に搔記して写経したヤシ科のバイタラジュ(貝多羅樹)に擬して名づけられた。



タラヨウの雌花